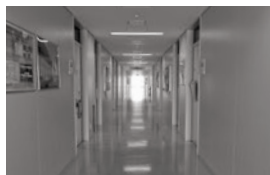


CONTENTS

- 会長挨拶
「時代の変化と共に進化する摂大土木会」
会 長 新田 耕司（摂大平成2年卒）
- 学科長挨拶
「JABEE継続審査・そして新たな学科へ」
都市環境工学科 教 授 片桐 信
- 総会報告
- 瀬良昌憲教授、八木俊策教授 退職を記念した祝賀会のご案内
- 準会員（学生）向け 建設業界の紹介を開催しました（OB企業講演会）
- [摂南大学土木会] 平成29年度 決算書・平成30年度 予算書
- 「都市環境システム工学科 建築士プログラム」
（一級建築士受験資格）認定条件
- 研究室だより
- 教室だより
- 2018年度就職状況
- 近況報告
- 卒業生特集
貢献する土木技術
- 同窓会報告
- 技術士会だより
- 事務スタッフ紹介
- 在学生特集
テーマ「成長したこと・させたいこと」

農学部校舎



1号館3階
(都市環境工学科研究室廊下)



学長表彰前の風景



時代の変化と共に進化する摂大土木会

会長

新田 耕司

(摂大平成2年卒) 中央復建コンサルタンツ株式会社



大阪北部地震、
平成30年7月豪
雨、台風21号、
北海道胆振東部
地震、台風24号

により被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

摂南大学土木会会員の皆様方におかれましては、各方面で益々ご活躍のことと思います。

本学土木会は、高専時代の昭和39年に発足され、本年平成30年をもって、55年目を迎えることとなりました。これもひとえに、諸先輩方をはじめ、大学先生方のためまめ努力の賜物であり、そのDNAを引き継ぐことにより、在学生や卒業生のために、さらに活発化・機能化させることに邁進する次第です。

さて、巷では、「平成最後の…」という言い回しが流行しています。我々は、「激動の昭和」と聞かされ、悲惨な太平洋戦争を反省し、戦後の目を見張るいわゆる高度経済成長による経済大国となった我が国を誇りに思い、さらに発展させる使命感を持ち社会貢献を続けています。

「昭和」は、私が大学2年生の冬に突

然幕を閉じましたが、改元について無関心だったように思います。当時無関心だった「平成」を現時点で振り返ると、様々な出来事がありました。湾岸戦争、無差別テロ等の事件があり、震災、豪雨、台風等の想定外で未曾有の自然災害も多く発生しました。特に、自然災害については、様々な外力に耐え得るはずだった土木施設がもろくも崩れる状況を目の当たりにして国土強靱化とは何か、持続可能性とは何かと一土木技術者として考えさせられました。

平成7年から始まった12月恒例の「今年の漢字」を順に挙げると、「震」「食」「倒」「毒」「末」「金」「戦」「帰」「虎」「災」「愛」「命」「偽」「変」「新」「暑」「絆」「金」「輪」「税」「安」「金」「北」で、悲喜こもごもの一字が並びます。平成後の新元号は、まだわかりませんが、毎年喜ばしい一字が並ぶことを誰もが願っていることでしょう。そのために我々土木技術者は、技術力や人間力を日夜研鑽する必要があります。

本学土木会がさらに発展し、進化しながら社会貢献の一翼を担う技術者集団であり続けるために、今まで以上の皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

JABEE継続審査・そして新たな学科へ

都市環境工学科 教授 片桐 信



摂南大学土木会会員の皆様。
平素は、学科の運営・教育にご理解頂き、また

多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年度4月より学科長を拝命いたしました。浅学非力ではございますが、都市環境工学科の発展と学生諸君の育成に力を注ぎたいと思っております。どうぞ、よろしくお願い致します。

学科の状況ですが、就職状況は極めて良好で、昨年度就職率は大学院進学者も含めて100%でありました。本年度も、8月中旬の時点で、内定・決定率が79・1%と極めて順調に推移しており、今後は、公務員志望の学生が確定していく見込みです。また、近年では大学院への進学を、学生諸君に強く勧めておりますが、大学院進学者は既に5名となっております。より一層の大学院教育の強化を、推し進めてまいりたいと思います。

さて、本年度はJABEE継続審査(2回目)の年度となります。JABEE責任者の熊谷教授を中心に、自己点検書と添付資料の作成・提出を終え、11月の実地審査に向けて詰めの段階へと

入っております。JABEE認証プログラムに求められることは、プログラムの教育システムを活かして、社会が求める優秀な人材を輩出することです。しかし、要求される人材像は、刻々と変化しています。近年では、従来から求められているエンジニアリングデザイン能力に加えて、民族や価値観の多様性を理解する力と、異分野の人材と共同でプロジェクトを達成していく能力が求められています。このことは、学科で毎年行っている企業訪問の際に、人事担当者から頂くコメントとも合致しています。従前の古典的学問を講義すれば良いという大学教授像からは、ずいぶんと変化した教育能力ならびに教育システム・環境が求められております。

こうした社会の要請に応じて、建学の精神にもある「専門職業人の育成」に、学科全体として力を注いでまいります。今後とも、摂南大学土木会の皆様のご協力が必要となります。引き続き、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

瀬良昌憲教授、八木俊策教授 退職を記念した祝賀会のご案内

摂南大学において教鞭をとってこられました瀬良昌憲教授、八木俊策教授が、来年(2019年)3月31日をもって退職されることになりました。つきましては、下記のとおり先生を囲んだ祝賀会が開催されますので、ご案内申し上げます。

ご多用中のところ誠に恐れ入りますが、卒業生や先生と親交の深い方々をはじめ皆様のご来臨をお待ちしております。

～＊ 祝賀会 ＊～

日時:2019年3月23日(土) PM(予定)

会場:摂南大学

詳細につきましては、当学科のHP(<http://www.setsunan.ac.jp/civ/>)でご確認ください。(2019年1月頃掲載予定)

問い合わせ先:摂南大学理工学部

都市環境工学科 石田 裕子

TEL:072-839-9125

E-mail:ishida@civ.setsunan.ac.jp

準会員(学生)向け 建設業界の紹介を 開催しました(OB企業講演会)

これから就職活動を開始する学生へ向けて、10月20日(土)に摂南大学寝屋川キャンパスにおいて建設業界の紹介を行いました。

発注・コンサル・施工・環境関係に従事している学科卒業生の先輩方に、業界の紹介(仕事内容)、求めている人材像、仕事のやりがい、仕事に取り組んでいく中で大事なこと、学生時代の過ごし方、資格等について分かりやすく紹介をしていただきました。

学生から質問が出るなどこれから始まる就職活動を意識して集中して聞き入っていました。

総会報告

平成29年度通常総会開催される

代表幹事 中土井 敬史

平成29年度の特別講演会と土木会総会が平成29年11月25日(土)午後3時より、摂南大学寝屋川キャンパスにおいて、多数の出席者の中で開催されました。

特別講演会は、摂南大学理工学部都市環境工学科の教授 片桐 信先生による『熊本地震における上下水道管路の被害調査』と題するご講演で、熊本地震で損傷を受けたライフラインについて事例を交えてわかりやすく説明頂き、人々の生活に欠かすことのできないライフラインをどう守っていくのかなどをご講演頂きました。まことにありがとうございました。この場を借りて心より御礼申し上げます。

総会は、新田会長(摂大平成2年卒)の挨拶に始まり、役員の坂本圭氏(摂大10年卒)の司会で、青木 隆典氏(摂大昭和62年卒)を議長団に選出し、平成28年度事業報告・決算報告および平成29年度事業計画・予算案について審議され、それぞれ原案どおり承認されました。

総会に引き続いて、懇親パーティーを摂南大学寝屋川キャンパス11号館スカイラウンジにおいて、摂南大学理工学部長の川野常夫先生や摂南大学理工学部都市環境工科学科長の瀬良昌憲先生のご臨席を賜り、役員の坂本圭氏(摂大10年卒)の司会で盛大に開催されました。

ご来賓の各先生方、各卒業生会代表から土木会に対して、ご祝辞と激励のお言葉を頂戴いたしました。

会員相互の親睦を深め、終始和やかな雰囲気の中、元教員であります井上治先生の万歳三唱をもって、次回(平成31年)の再会を誓って閉会いたしました。

(西日本旅客鉄道(株) 摂大平成7年卒)



このまちを未来へつなぐ
総合建設コンサルタント



株式会社 **アスコ大東**

大阪本社 TEL 541-0054 大阪市中央区南本町 3-6-14
TEL 06-6282-0310 FAX 06-6282-0311

東京本社 TEL 103-0006 東京都中央区日本橋富沢町 9-19
TEL 03-5641-2181 FAX 03-5641-2187

神戸支社 TEL 657-0841 神戸市灘区灘南通 5-4-15
TEL 078-871-5611 FAX 078-871-5541

奈良支社 TEL 634-0813 奈良県橿原市四条町 279-1
TEL 0744-21-0041 FAX 0744-21-0031

URL <http://www.as-dai.co.jp/>

inai conex
アイナイ コネックス

鋼道路橋の補修・補強設計業務はお任せください。

正社員募集中!

インフラの再整備が進み、受注件数も増加しています。
設計者としての第一歩を踏み出してみませんか?

inai conex 株式会社

代表取締役 **弓倉 啓右**

長谷川 望 (平成14年3月卒業)

桶川 雅斗 (平成23年3月卒業)

〒552-0001 大阪市港区波除3-1-18 藤田ビル5階

TEL 06-6583-5499

<http://www.inai-conex.co.jp/>

[摂南大学土木会] 平成29年度 決算書・平成30年度 予算書

平成29年度決算は表1のとおりであり、監査を経て、平成30年9月の臨時総会で収支とも相違ないことが認められた。また、平成30年度予算案は規約変更が決議されたことから、表2-1、表2-2に示す通りである。

表1 平成29年度決算

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	予 算	決 算	科 目	予 算	決 算
前年度繰越金	614,952	614,952	事務費等	140,000	36,057
正会員入会金	600,000	600,000	名簿追加修正費	30,000	33,670
広告料(延べ18社)	360,000	400,000	会報発行費	800,000	751,954
預金利息	500	23	同窓会補助	30,000	20,000
名簿売上	3,000	0	役員会・評議員会費	100,000	0
特別積立金より繰入	200,000	200,000	総会費	400,000	134,942
寄付金	0	122,000	特別講演会(2人分)	100,000	50,000
			慶弔費・見舞金	70,000	60,869
			雑費	30,000	1,080
			予備費	78,452	848,403
合計金額	1,778,452	1,936,975	合計金額	1,778,452	1,936,975

▲平成30年4月1日現在 特別積立金390万円

表2 平成30年度予算(案) 4月1日から3月31日

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	予 算	科 目	予 算
前年度繰越金	848,403	事務費等	140,000
正会員入会金(69名)予定	690,000	名簿追加修正費	30,000
広告料(22社)	440,000	会報発行費	800,000
預金利息	300	同窓会補助	30,000
		役員会・評議員会費	100,000
		慶弔費・見舞金	70,000
		雑費	30,000
		予備費	778,703
合計金額	1,978,703	合計金額	1,978,703

▲平成30年4月1日現在 特別積立金390万円

表2-1 平成30年度上期予算(案) 4月1日から9月30日

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	予 算	科 目	予 算
前年度繰越金	848,403	事務費等	70,000
正会員入会金(69名)予定	690,000	同窓会補助	10,000
預金利息	150	役員会・評議員会費	50,000
		慶弔費・見舞金	30,000
		雑費	30,000
		予備費	1,348,553
合計金額	1,538,553	合計金額	1,538,553

▲平成30年4月1日現在 特別積立金390万円

表2-2 平成30年度予算(案) H30.10月1日からH31.9月30日

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	予 算	科 目	予 算
上半期繰越金	1,348,553	事務費等	140,000
正会員入会金(60名)	600,000	会報発行費	800,000
広告料(22社)	440,000	同窓会補助	30,000
預金利息	300	役員会・評議員会費	100,000
		慶弔費・見舞金	70,000
		雑費	30,000
		名簿追加修正費	30,000
		予備費	1,188,853
合計金額	2,388,853	合計金額	2,388,853

▲平成30年4月1日現在 特別積立金390万円



**有限会社
ウィルコンサルタント**

現場のお悩みをお聞きしてお聞きして、さらにお聞きして、お客様自身が解決できる。そんなご提案でお答え致します。



【本店】
京都府相模原市光台3丁目2番地5
電話 0774-27-6946 Fax 0774-98-2085

【相模原支店】
神奈川県相模原市中央区上溝 2548
電話 090-5014-1396 (代表取締役 柴田 智彦)



イビデングリーンテックは、人と自然の共生、調和のとれた地球環境を創造する企業です。

当社は、「緑化＝グリーンビジネス」を事業の柱として、主に「法面事業」、「造園事業」、「建設事業」の3事業を展開しています。

ig イビデングリーンテック株式会社

http://www.ibiden-greentec.co.jp

【本 社】〒503-0021 岐阜県大垣市河間町 3-55
TEL 0584-61-6111 FAX 0584-74-1971

【関西支店】〒651-0072 神戸市中央区臨海町 2-11-14
(現代神戸ビル4F)
TEL 078-291-5585 FAX 078-291-5586

「都市環境システム工学科 建築士プログラム」(一級建築士受験資格)認定条件※1

入学年 (西暦)	入学年 (平成)	学科	「建築士プログラム」認定の条件
2002	14	都市環境システム工学科	平成20年度開講の「建築製図」又は平成21年度から開講の「建築設計製図Ⅰ」を科目履修生として単位取得する※2。又は同等の科目を他大学で履修して単位取得する※3。
2003	15		
2004	16		
2005	17		平成20年度開講の「建築製図」を単位取得して卒業する。 又は卒業後に「建築設計製図Ⅰ」(平成21年度から開講)を科目履修生として単位取得する※2。もしくは同等の科目を他大学で科目履修して単位取得する※3。
2006	18		
2007	19		平成21年度から開講の「建築設計製図Ⅰ」を単位取得して卒業する。 又は卒業後に「建築設計製図Ⅰ」を科目履修生として単位取得する※2。もしくは同等の科目を他大学で科目履修して単位取得する※3。
2008	20		
2009以降	21以降		認定されない。※4

※1:一級建築士受験を目指す「建築士プログラム」認定の条件です。卒業後に、建築に関して2年以上の実務経験を経て一級建築士試験の受験資格が得られます。二級建築士は、卒業後に1年以上の実務経験を経て受験できます。この場合、「建築士プログラム」認定の必要はありません。また、二級建築士合格後、4年以上の実務経験を経て一級建築士が受験できます。

※2:卒業後に対象科目の単位修得を行った場合も実務経験の起算日は卒業時となりました。なお科目履修の手続きについては教務課に問い合わせください。

※3:卒業後に対象科目の単位を他大学で取得した場合でも一級建築士の受験資格が得られるようになりました。詳しい条件等については教務課又は(財)建築技術教育普及センターに問い合わせてください。

※4:2009年度入学生(2010年度以降は都市環境工学科)からは新建築士法が適用されます。「建築士プログラム」は認定されませんが、新建築士法の規定により、指定科目の履修と所定の実務経験から二級建築士の受験資格が得られます。

KAIKEN—街づくりの総合コンサルタント

【企業理念】

建設に係る技術力をもって社会に貢献すること



株式会社 開発計画研究所

代表取締役

井上 忍

(昭和44年3月卒業)

事務所:東京・水戸

TEL 03-5828-6855

小田卓朗(社員) 平昌オリンピック出場

・スピードスケート 1,000m 1,500m 5位

・帰山雄太 第73回国民体育大会 優勝



OCC



建設コンサルタント・補償コンサルタント・情報測量・情報管理

大島技術コンサルタント株式会社

本社 岡山県真庭市藤山829-1

〒717-0602 ひるぜん TEL 0867-66-3673(株)

FAX 0867-66-3674

URL: <http://www.ogcflight.co.jp>



まちのコントラクター

苅田建設工業株式会社

代表取締役 苅田 孝太郎

ISO9001 本社 〒660-0087

ISO14001 尼崎市平左衛門町18番31号

TEL (06)6419-2981(代表)

ホームページ: <http://karitakensetu.com>

三田営業所 三田市天神1丁目2-12

TEL (079)563-0095

大阪市内より30分圏内の
緑豊かなお墓地をご案内いたします。

お墓のことならどんな事でもお気軽におたずね下さい。

お墓の相談コーナー ☎0120(305075)

(株) 太田石材店



本社 大阪市城東区古市1丁目23番20号

TEL 06-6930-5075

—当社推奨霊園—

総持寺霊園(茨木市)

陸国寺墓地(吹田市)

海印寺墓地(長岡京市)

王寺霊園(奈良県)

東本願寺天満別院(北区)

北摂霊園(豊能郡)

真龍寺霊園(茨木市)

服部徳風墓地(豊中市)

竜の子霊園(奈良県)

玉手山墓園(柏原市)

飯塚メモリアルパーク(四條畷市)

飯塚霊園(四條畷市)

その他公営墓地

研究室だより

環境地盤研究室 教授 伊藤 譲

1996年に、日本道路公団(現:NEXCO)から本学に着任して、環境地盤研究室を立ち上げて23年目になります。この間、219名の学部生、18名の修士、1名の博士の学生が巣立って行きました。研究室ではテーマごとに、凍結班、地盤改良班、蓄熱班、屋上緑化班、グラウンド班などにグループ化して、主に実験的に取り組んできました。

これらのテーマの中で一貫して取り組んできたものは土の凍結に関するテーマです。世界の凍結を扱う研究室では最も南に位置する研究室です。含水状態の細かい土が凍結する時、間隙水は一瞬で凍るのでなく、土粒子から離れた箇所から少しずつ凍り、その状態を観測することで未凍結土や凍結融解土の工学的性質を明らかにすることを目標としています。なお、気心の知れた学会の友人からは、凍結にこだわる研究姿勢(そう見えるらしい)は損なので、道路建設等の企業受けするテーマにシフトして、たくさん研究費を集めてはどうかと助言をいただいたこともあります。

しかし、世間には評価して下さる機関もあり、科学技術研究補助金、ゼネコン、専門工事会社の支援があり継続的に研

究することができました。2013年からは、福島第一原発の凍土遮水壁関係のタスクフォース委員を任命されています。また、汚染土壌の修復の研究では中国の研究者との交流、中国の科学技術補助金の受給なども受けるようになりました。

凍土の実験では、JIS規格ではなく、実験目的に合わせて独自に設計製作した装置を使います。研究内容は開発を目的としています。必ず、そのメカニズムの解明を前提としているので、卒研生の研究でも博士論文レベルの内容を含んでいます。しかし、残念なことです。研究の価値を少し理解できるようになる頃には卒業となります。

また、学生時代から取り組んできたプラスチックボードレーンの研究では、現場観測においてボード内の水流を世界で初めて直接測定することができました。

このように、独創性、二番煎じはしないこと、諦めずに続けることをモットーに今後とも研究を続けたいと思います。



教室だより

都市環境工学科 准教授 田中 賢太郎

今年度、都市環境工学科には、1年次80名(8名)、2年次89名(10名)、3年次62名(3名)、4年次65名(7名)で合計296名(28名)の学生が学んでいます。なお、括弧内の数値は女子学生を示します。大学院の社会開発工学専攻における学科出身者は、1年次7名、2年次3名です。片桐 信 教授が学科長として学科運営に当たり、教職員は専任10名、非常勤30名、事務スタッフ3名の陣容で教育・研究の指導を行っています。

学科の専門科目で、都市環境基礎ゼミⅡの中で、「P-1グランプリ」というコンテスト形式の授業を展開しています。ペーパーを用いて製作する橋梁模型の強度コンテスト(構造部門)および工夫点をアピールするプレゼン審査(プレゼン部門)を実施しています。2017年度 P-1グランプリは、2018年1月20日に実施しました。その中で種々の模型で新しい発想が見られ、個性的なモデルが増えてきている。学生の様子を見ると、参加意欲も比例して上昇しているのではないかと考えられる。構造部門の優勝は熊谷ゼミ、準優勝は石田ゼミとなり、プレゼン部門の優勝は伊藤ゼミ、準優勝は片桐ゼミとなりました。



学科主催の行事として、2017年10月11日に実施した講演会および現場見学会について報告させていただきます。講演会では、1年生向けには、(一社)建設コンサルタンツ協会(JCCA)のご協力を得て、建設コンサルタントの役割や業務

内容などについてご講演いただき、3年生向けには、大阪府都市整備部の方のご協力を得て、土木系公務員の職務、土木全般の維持管理についてご講演いただきました。最後に、質疑応答の時間があり、学生たちは積極的に質問しておりました。

現場見学会は、1年生は2箇所(①人と防災未来センター、②琵琶湖疏水記念館)に、3年生は3箇所(①阪神高速道路大和川線常盤工区、②NEXCO総研緑化技術センター、③JR東海道線支線地下化・新駅設置事業)にわかれて現場を見学しました。参加した学生は、建設現場の魅力や土木技術者の役割を肌で感じているようでした。また、摂士会を通じて、JR東海道線支線地下化・新駅設置事業(案内:西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部 施設課 土木協議 中土井敬史様)の見学先をご紹介いただきました。この紙面をお借りして、心より厚くお礼申し上げます。



阪神高速道路大和川線常盤工区(3年生)



NEXCO総研緑化技術センター(3年生)



JR東海道線支線地下化・新駅設置事業(3年生)

人材難と人材育成 ～2018年度の就職状況から～

都市環境工学科 教授 熊谷 樹一郎

本年度の就職状況は、2018年8月10日(金)現在で学部4年生64名、大学院2年生3名の計67名のうち内定/確定率が79・1%、内定率だけみると82・1%となっています。内訳は、ゼネコン・専門工事会社29名、コンサルタント8名、大学院進学5名、公務員1名、鉄道1名、舗装会社1名、不動産業2名、デベロッパー1名、設備会社1名、その他4名です。一方、未内定者の内訳は、公務員志望9名、民間(活動中、異業種含む)5名といった状態です。

建設分野においては団塊の世代の方々の定年ラッシュが終わりを迎えたものの、30歳代・40歳代前半の技術者が足りていないなかで2020年の東京オリンピック・パラリンピック需要、インフラの更新・修繕の増加などがあり、就職戦線の「超売り手市場」が形成されたようです。昨年12月から企業の人事担当者の方々や、卒業生のみなまでの来校が相次ぎ、就職担当として交換した名刺の数は200枚を超えました。学生さん達の体験談を聞くと、見学会・idayインターンシップ・説明会にかかる交通費の全額支給や採用試験前後の食事のお誘いなど、バブル期を思い起こさせるような話を耳にすることがあり、異常さを感じざるを得ません。その一方で、人材の育成に注力する企業も着実に多くなっており、職場環境の改善をもつて離職率の低下を目指すとともに、技術者を如何に育てていくのかについて真剣に取り組まれていることに感服するケースも多くありました。このような人材不足の問題は、地方自治体、特

に市においても生じている模様です。大学周辺の約10の市からも卒業生の方とともに人事担当者の方々が来校し、説明会・現場見学会・採用試験をPRされていかれました。多くの自治体で新卒の受験可能年齢を35歳まで上げていますが、異口同音に人が足りない、受験する人が少ない、といった話をお聞きます。

他方では、この夏にはすでに来年度に向けた動きが活発になっていきます。企業・地方自治体からは多数のインターンシップ・見学会の案内が届いており、現3年生や大学院1年生は夏休み中に多くの経験を積んでくるようです。来年度も「超売り手市場」が続くような勢いを感じているところです。

以上のように、個々の苦勞や悩みはあるものの、総じて言えば学生側がたいへん恵まれた時代と言えるでしょう。ただし、この狂騒的な「就職活動」というイベントは社会へのほんの入り口での出来事に過ぎません。特に技術に関係する仕事を生業としようとする学生さんには、今後も不断的努力が必要となっていきます。その一方で、「働き方改革」の下で長時間労働を避ける流れができつつありますが、ともすれば若い社員が社内でおぼろけを失う面もでてくる可能性があることに注意が必要です。今から採用される世代は早い時期に責任ある仕事をせざるを得なくなるでしょう。個人的・社内的な努力に加えて、業界を挙げての人材育成の環境・仕組みづくりが必要となってくるかもしれません。

コンクリート製品と建設業を通して、
人々の「安心」「安全」な暮らしの環境造りに貢献する。

事業内容 コンクリート二次製品の開発・設計・施工・製造・販売及び総合建設業
代表者 代表取締役社長 荒川 崇

本社 〒613-0903 京都市伏見区淀本町225番地
TEL 075-631-3231 FAX 075-631-9588
営業所 宮城、群馬、長野、東京、静岡、愛知、三重、滋賀、
京都、奈良、大阪、和歌山、兵庫、香川、福岡、沖縄
工場 京都、三重、兵庫

KCON ケイコン株式会社
<http://www.kcon.co.jp>



KUMONOS
コーポレーション

世界の未来を
測る技術

卒業生

猪木浩之 土木工学科H4卒業
黒田清紀 土木工学科H3卒業
武末和志 土木工学科H15卒業

<https://www.kankou.co.jp/>



近況報告

摂南大学 名誉教授 道廣 一利

退職してはや4年半が経とうとしております。退職記念会では多くの卒業生にお会いすることができ、この上ない思い出となりました。この紙面をお借りして御礼申し上げます。

退職後に是非とも実行したいことが三つあったのですが、その一つが、現在64カ国を訪問しており、是非とも65カ国目をと計画をたてていたのですが、なにぶんにも訪問しようとしていた国は日本から20時間以上のフライトでしかも治安が悪く、予防接種が必要なところで家族の反対や体力的なことを考慮し断念いたしました。それではと急遽国内旅行へと切り替え、「フーテンの寅さん」風に最終目的地だけを決め、道中は適当な所で宿をとるといった行程1週間ほどの年2回の旅です。これには自分なりのルールを設けており、①一人旅②安宿③ご当地の代表的な名酒・料理をいただく④有料道路を使わない(淡路島・四国へはやむを得ず使用)⑤寺社仏閣や道の駅には立ち寄りといった具合です。このようにして訪問した都市は、西は山口県、東は静岡県、北は新潟県、南は高知県などです。今まで知らなかった良き日本を肌で感じる事ができ、健康と相談しながら今後も続けていこうと考えています(勿論、家族旅行も2～3ヶ月に一度は実施。つい先日7/30～8/1にも小豆島・淡路島へ)。普段は映画鑑賞(相当数のビデオを見ました)などで時を過ごしています。遊びばかりではなく、炊事・洗濯・掃除・買い物・ごみ出し and アッシー君なども日常的に行っています。

社会的な活動としては在職当時から引き継いでいる4つの委員会と退職後技術顧問としてお世話になっている川崎地質(株)関連で、東京へは月1～2度出かけています。なにぶんにも時間は十分過ぎるほどありますのでジパング利用の「ひかり」です。突発的な活動としては、平成26年度8月豪雨による広島土砂災害、平成28年4月の熊本地震・10月鳥取中部地震、平成30年7月の西日本大豪雨における土砂災害などで調査団の一員として参加しております。記憶にも新しい西日本大豪雨での被災地である広島県安芸区・愛媛県宇和島市に出張し、つい先日報告書を提出したところです。広島からの帰りに郷里である倉敷に立ち寄り、真備町の悲惨な現状を目の当たりにした時は言葉も出ないほど心を痛めました。これに追い打ちをかけるように東から西へと進路を取り九州を南下した従来の台風とは逆行するような台風12号が発生し被災地を直撃しましたが、大事には至らず安堵いたしました。異常気象の原因としては、地球温暖化、ブロックング、テレコネクション、森林破壊等々が複合した結果と言われていますが、少なくとも災害の完全防止は無理としても早急な軽減策の実施を望むばかりです。

最後になりますが、摂南会の益々のご発展と皆様方のご健康とご多幸をお祈りし、再びお目にかかる日を楽しみにしながら筆を置くことにします。

アルミでつくる
まちづくり



株式会社 住軽日軽エンジニアリング

本社/〒136-0071 東京都江東区亀戸2-35-13 新永ビル TEL:03-5628-8510
大阪支店/〒541-0045 大阪市中央区道修町1-5-18 朝日生命道修町ビル TEL:06-6223-3561
<http://www.sne.co.jp/>

Japan Asia Group



国際航業

地理空間情報技術を活用し、安心で安全、
そして持続可能なまちづくりを先導します。



国際航業株式会社 西日本支社 関西事業所
〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町1-1-15
TEL:06-6487-1111 <http://www.kkc.co.jp/>

今を守り、これからを築く。



線路や駅舎、道路、橋梁あるいは公共施設など、
人々の日々の暮らしを欠かせないインフラを手がける大鉄工業。
それらは、築いて終わるものではなく、ずっと先の未来へと受け継がれていくもの。
私たちは、物理的にも、時間的にも、
背負うもののスケールの大きさを肝に銘じて、仕事に当たっています。
今ここにあるものをしっかりと守りながら、これから必要とされるものを築いていく。
それが大鉄工業の使命なのです。

卒業生32名在籍

〒532-8532 大阪市淀川区西中島3丁目9番15号 <http://www.daitetsu.co.jp/>

DAITETSU 大鉄工業株式会社

「助かる命をむだにしない」

自然災害調査、地盤調査、各種構造物施設点検
全国各地での地盤防災についての講演
地盤防災士の育成、防災教育の普及と啓蒙活動

地盤を学び災害から身を守る技術を提供します

一般社団法人 地盤診断機構

代表理事 田中 昌明(昭和48年卒)
大阪事務局(株式会社コスモテック内)
〒540-0026 大阪市中央区内本町2-4-10-703
TEL:06-6942-0808 FAX:06-6942-0909
E-mail: info@jsk-jiban.com URL: <http://www.jsk-jiban.com>

地盤防災ジャパン



兵庫県赤穂市役所のOB近況報告

赤穂市役所



大黒 武憲（撰大昭和63年卒）平成3年4月入庁
小川 尚生（撰大昭和63年卒）平成2年12月入庁
畑中 教秀（撰大平成10年卒）平成13年4月入庁
荒木 亨（撰大平成22年卒）平成22年4月入庁

赤穂市役所に在職する撰大卒業生4名の近況報告をいたします。

赤穂市は、兵庫県の南西部、岡山県との県境に位置し、まちの中央を流れる名水百選に選ばれた清流千種川や温暖な瀬戸内気候等の豊かな自然に恵まれ、自然と歴史・文化が融合したまちであります。

私たち行政の土木技術職員の仕事は、道路・河川・区画整理・上下水等の社会インフラや公共空間を整備する事業が主ではありますが、最近では橋梁等の各種インフラ施設の老朽化対策や大型台風やゲリラ豪雨をはじめとする自然災害への防災対策等の課題に直面しており、市民の皆さまがより安全・安心に生活できるよう重要な役割を担っております。

これら多岐にわたる業務を通して、様々な部署に所属する撰大卒業生が新たに入門した後輩（撰大卒業生）をいち早く一人前の土木技術者になるよう、やさしく丁寧にかつ分かりやすく指導することを心掛けており、現在では、卒業生4名が赤穂市政発展に向け、互いに意見を出し合い、共に力をあわせ、時には叱咤激励しながら職務を遂行しております。

また、赤穂市役所に在職する他の学部の撰大卒業生も含めて、撰大OB会を結成し、定期的に夜の会合・飲み会を開催して親交を深め、非常に良い人間関係を築いており、撰大卒業生で本当に良かったと思いがながら日々業務に励んでおります。

公務員はいま風当たりの厳しい職種になっており、また昨今の就職バブルを迎え、赤穂市における土木技術職員の募集には希望者がほとんどおらず、再募集や募集時期をずらす等厳しい状況が続いており、土木技術職員確保は本市において最重要課題となっておりますので、私たち卒業生4名と一緒に赤穂市を盛り上げてくれる力溢れる撰大生（新卒・既卒は問いません！）と今後出会えることを楽しみにしております。

入社して経験したこと

（株）鴻池組



松村 恵佑（撰大平成26年卒）
 私は、平成26年3月に撰南大学を卒業し、同年4月に株式会社鴻池組に入社しました。入社後4年経過しましたが、入社して経験したことを報告させていただきます。

弊社は大阪に基盤を置くゼネコンであり、土木工事だと道路・鉄道・環境浄化・保全・ダム・河川など幅広い分野で工事を行っています。1年目は、首都圏の大動脈の一つである東京外環自動車道の千葉区間の建設に現場監督として携わってました。地下15mにボックスカルバート構造物を構築する工事でした。

当初は、現場での聞き覚えのない言葉が多く理解出来ない為、先輩上司や協力業者の方に教わりながら覚えていきました。徐々に出来ることも増え、現場で測量や墨出しという作業を行いました。そこに鉄筋と型枠が組みまれ、コンクリートを打込み、構造物が出来上がっていきました。出来上がった構造物を見て大変感動し、ここを将来、車が通ると思うとワクワクしました。

2年目から現在では、地下にシールドトンネルを築造する工事に従事しています。日々、工程表の作成から業者の手配、施工計画及び安全管理を行っています。

土木施工管理の仕事は1/100サイズの設計図を実物大で再現することが仕事です。

組み立て方の説明書があるわけではないので、施工方法の立案から行い、同じ構造物をつくるのに十人十色のやり方があります。その為、1つの構造物を施工するために綿密に検討を行い、自分で考えた施工計画を発注者に説明し、納得して頂いた時はやりがいを感じます。

工事を進める上で、時には問題が発生することもあり、今までの知識を生かし、いかに早く解決し、工程通りに工事が進むように調整を図ることも仕事の醍醐味だと感じております。

最後に、このような国家的プロジェクトに携わり、生涯残るものをつくる事ができるのは、この仕事の魅力です。そして、大変な思いをした工事ほど達成感があります。

ものづくりが好きで達成感があることを楽しみにしております。

土木という仕事

中央コンサルタンツ（株）大阪支店 設計部



黒田 佳郎（撰大平成27年卒）
 私は、平成27年3月に撰南大学を卒業し、同年4月に中央コンサルタンツに入社して今年で4年

目となりました。弊社は、土木総合コンサルタントとして土木事業に対して、企画、調査、計画、設計を通じて社会資本整備に貢献しております。その中でも私は、入社時より橋梁の補修・補強設計、点検の仕事に主に携わってました。

土木構造物は、一つとして同じものがなく、建設地の立地条件等に応じて、知恵を絞ることが山ほどあります。そうした検討をする際に、私が大事にしていることは「誰のために仕事をしているのか？自分の橋なら、どうする？」ということです。これは、私が上司によく言われている言葉でもあります。小手先の意匠を付け足すのではなく、細部を追求し利用者視線を忘れず、最適な提案を行いベストな仕事をする。私は、まだまだ自己研鑽の途上ですが、ベストな提案・仕事を追及していきます。

土木という仕事へ向けられる目は厳しいものがあります。ですが、土木は素晴らしい仕事です。国民の生活と財産を守る使命に真摯に向き合い、陰ながら国民生活を支えることをライフワークとして、生涯向き合うことに値する仕事だと私は感じています。中でも、建設コンサルタントという仕事は、計画から設計、維持管理まで全ての分野についてコンサルティングができるという意味で、無限の可能性を秘めています。土木を若い力で、一緒に盛り上げていきましょう。

同窓会報告

大阪工業高等専門学校土木工学科2期生 古希を祝う同窓会

古川 忠彦(土木工学科2期生、昭和43年卒)

平成29年の年の瀬も迫った12月29日(金)午後5時30分より常翔学園梅田キャンパス「OITタワー」最上階の21階にある「レストランテ翔21」で土木工学科2期生(昭和43年卒業)の古希を祝う同窓会を開催いたしました。

同窓会には2期生20名が出席致しました。さて出席予定の井上先生は前日来の風邪・発熱で残念ながらお休みとなりました。そして又我々の担任・恩師の小豆島一男先生は一昨年お亡くなりになっておられました。そんな中、幸い奥様が先生の遺影を抱いて、唯一マドンナとして出席してくださいました。

奥様は、我々の知らない先生の別の顔(画家・建築家)としての活躍をサラリとお話し下さいました。

アメリカニューヨークの絵画で有名な展覧会で特選に選ばれた話でした。そして隠れたベストセラーである「建築・パース・カラートレーニング」(アマゾンで現在も取扱い)の図書を3冊寄贈して下さいました。

パースとは、建築の外観や室内を立体的に表現することで、今はやりのVR(仮想現実)の先駆けで図面などで分かりにくい全体のイメージを表現する方法です。

奥様はあいさつのなか、先生にはたくさん教え子がいましたが、何時もあなた方の事を15歳で入学し、とてもやんちゃで先生が困らせられた話、又進級問題で胃袋に穴があくほど悩まされていた事。等々しかしあの時が一番なつかしく楽しかったと主人からよく聞かされました。

同窓会の話題は、以前の白浜温泉還暦同窓会からの10年間の積もる話や孫の話等、時の流れを感じずにはおれませんでした。

最後はビンゴの余興でパースのプレゼントや提供された景品で盛り上がり7時30分お開きとなりました。

その後15名が2次会へと繰り出しそこでこれからも毎年集まろうとなり忘れられない1日となりました。この度は、同窓会費用の一部を摂南大学土木会から同窓会補助として、補助金を受けました。ここに記して感謝いたします。



昨年7月以降に寄付いただいた方を今号にてご紹介いたします。

(順不同)

筒井 憲司 (平成12年卒)	林 義宣 (昭和60年卒)	日下部 博之 (昭和48年卒)	橋本 梯造 (昭和42年卒)	平方 智志 (平成29年卒)	足立 博成 (昭和50年卒)	門倉 弘延 (平成29年卒)	北岸 公男 (昭和54年卒)	横田 英一 (昭和58年卒)	田畑 豊久 (昭和42年卒)	田中 昌明 (昭和48年卒)	高石 清賢 (昭和58年卒)	木下 幸佐 (昭和57年卒)	梶原 博史 (昭和47年卒)	松本 孝孝 (昭和55年卒)	西村 正道 (昭和62年卒)	目良 敏敏 (昭和47年卒)	立川 宏宏 (昭和49年卒)	大島 正樹 (昭和42年卒)	江原 光治 (昭和47年卒)
-------------------	------------------	--------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

土木構造物の設計・維持管理の専門技術者集団

将来にわたり、鉄道構造物の設計・土木構造物の維持管理に係る
高度な技術力と豊かな経験を次世代の技術者に継承します。

中央復建デザインプラス株式会社
DESIGN PLUS
〒533-0033 大阪市東淀川区東中島4丁目11番10号(中央復建コンサルタンツ内)
TEL: 06-6160-1135 E-mail: info-cfdp@cfk.co.jp
URL: <https://www.cfdp.com/>
Since 2017

創造力と総合力でお客様のニーズにお応えします

CFKは社会の様々な要請に応えるべく、健全な企業経営のもと優秀な技術者が大いに活躍できる場を確保し、技術力の研鑽とともに、人材育成や働きやすい職場環境づくりに力を注いでいます。

<http://www.cfk.co.jp/>

中央復建コンサルタンツ株式会社
CFK
CREATIVE & FULL KNOWLEDGE
Since 1946

[本社] 〒533-0033 大阪市東淀川区東中島4-11-10
TEL: 06-6160-1121 FAX: 06-6160-1127
[東京本社] 〒102-0083 東京都千代田区豊町2-10-13
TEL: 03-3511-2001 FAX: 03-3511-2031

事務スタッフ紹介

福岡 智子

はじめまして、6月より都市環境工学科で勤務しています福岡智子と申します。

私には、大阪府立大学工業高等専門学校の都市環境コースを卒業した娘がおり、現在は尼崎市都市環境整備局の土木部で道路整備担当として働いています。こちらで働くことになり、何か縁のようなものを感じております。

私はとにかく体を動かすことが好きで、学生時代はバスケットボールをし、今は健康のためにランニングをしています。目標はホノルルマラソンに出場することです。ジャンルは問わずスポーツ観戦が好きなので、同じ趣味の方がいらっしゃったら是非声をかけてください。

学校事務という仕事は初めてなので、戸惑うことも多く、準備室のみなさんや先生方にはご迷惑をお掛けしており申し訳なく思っています。一日も早く仕事を覚え、サポートできるよう頑張っていますので、よろしくお願い致します。



技術士会だより

会長 木下 幸佐 (摂大昭和57年卒)

技術士会は、平成14年2月の発足以来17年目を迎えました。摂南大学卒業生で技術士・技術士補の方を正会員とし、在校生で技術士第一次試験合格者を準会員として構成し、会員数も74名(内技術士49名)となりました。

技術士会では毎年総会を実施し、その折には特別講演会を開催して技術の研鑽に動しんでおります。本年度は瑞宝双光章受賞者にご講演戴けました。また年2回の会員相互の親睦会や、在学生に対する技術士第一次試験受験セミナーの開催を行っております。

また平成20年からは、大学技術士会連絡協議会のメンバーとして、大学相互の技術士会の連携・啓発活動に参画しております。

摂南大学卒業生の皆様方の中で、技術士および技術士補をお持ちの方は是非、技術士会への入会をお願いします。技術士会のHPより連絡をお願いします。会員相互の連携と親睦をはかり、微力ながら母校の発展に尽力しましょう。

訃 報

平成30年3月23日に永眠されました。

尾崎 禎久 様(高専51年卒業)

謹んでご冥福をお祈りします。

思いを新たに

創業者・浅野総一郎は
“人間の目的は「死んだ後まで社会を益すること」を志すにある”
という言葉を残しました。

私たちは創業の志を忘れることなく、
未来に向かって歩んでまいります。



The great power of water

日進機工株式会社

NISSIN KIKO

<ウォータージェット工法のパイオニア>

日進機工は、お客様の生産設備・インフラを最適な状態で維持・管理していく事で、お客様の仕事そのものを成功に導き、お客様に感動を与える会社です。
おしるも最先端テクノロジーに精通する経営者として、常に最先端を目指し、顧客を魅了するウォータージェット工法の専門技術を駆使し、お客様からのこんなことが出来ないという悩みや要望を全力で解決しています。

お客様が困ったとき必ず力になれる会社、それが「日進機工」です。

本社 〒463-0808
愛知県名古屋市中区栄2丁目401番地
TEL:052-724-2771 FAX:052-724-2772
代表者 尾崎 禎久
営業所 東京支店・大阪支店・名古屋支店・東海支店・東北支店
URL http://nissinkiko.com/

<事業内容>土木関連工事
コンクリート打設工事、トンネル天井補修工事
高圧洗浄機・高圧洗浄機・高圧洗浄機・高圧洗浄機
その他多数の業界・現場にて工事実施有り

常盤工業株式会社

日本の道を愛する
和と情でつながる、只此のこころ。
tokunawa.co.jp

【本社】

〒102-8182 東京都千代田区九段北4-2-38
TEL:03-3262-9181
FAX:03-3262-9200

【大阪支店】

〒540-0012 大阪市中央区谷町1-3-27
TEL:06-6942-1507
FAX:06-6942-1500

HC 21世紀をグローバルに拓く 株式会社 花村コンサルタント

業者登録

- ・建設コンサルタント業 第8662号
- ・地質調査業 第1760号
- ・測量業 第1474号
- ・土壌汚染指定調査機関 環2003-2-30

代表取締役 花村 浩司 (高専C昭和47年卒)

本社 〒611-0042 京都府宇治市小倉町南浦9-8
TEL (0774) 21-5067 FAX (0774) 21-5068
大阪事務所 〒542-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三314
TEL (06) 6764-7438 FAX (06) 6764-7439

株式会社 日照技術コンサルタント

建設コンサルタント

道路、河川・砂防及び海岸・海洋
都市計画及び地方計画
下水道、施工管理、発注者支援

測量

測量全般、鉄道測量 (JR)

代表取締役 市原 久照 (高専52年卒)

〒611-0041 京都府宇治市横島町月夜3番地の2
TEL 0774-22-7137 FAX 0774-22-4966

E-mail:nissho-soumu@cyber.ocn.ne.jp

http://nissho-engineer.co.jp

支店、営業所：大阪支店・城陽支店・南丹営業所



テーマ「自分の描く将来のために」

充実した生活の中で、私達はこんなことを考えています!

今ある時間を有効に



2年生 砂原 小波

私は、将来のために今一番するべきことはやはり勉強だと思います。興味のある科目なら土木に関係ないような科目でも取るようにしたり、空き時間や通学時間を利用して勉強したりしています。また、将来どんな職業に就くとしても資格は必要だと思うので、TOEICやその他の土木関係の資格の勉強もしたいと思っています。さらに、3年生になればインターンシップにも参加したいと考えています。私は現在、構造設計の仕事に就きたいと考えていますが、インターンシップに参加し、より社会人に近い経験を積むことで、自分が何に向いているのかを知ったり、自分のやりたいことが明確になったりすると思っています。

大学生が一番自由な時間がありますが、何もしなければ本当にすぐに過ぎてしまうと思います。だからこそ、今ある時間を有効に活用し、自分の描く将来のために頑張りたいです。

努力と諦めない心



1年生 宮本 タ也

私は、自分の将来については、生きていく中で何が起きるか定かではないので、明確には描けていません。そのことから、大学では講義や課題に積極的に取り組み、些細なことでも行動を起こして様々な経験をすることが大切だと考えます。出来ないことがあった場合でも、出来るという気持ちと真剣に考え挑戦をすること、努力と諦めない心があれば描けていない未来も切り開かれて行くのではないかと思います。また、土木に関する講義などは急に学修していき、複雑化した都市環境にも対応できるように努力して、社会に出たときの為にも人間力は重要になると思うので、大学でのグループワークなどでコミュニケーション力を身につけて、何事にも動じず、諦めない心で様々な問題や課題を解決していき、実践的な技術を身につけた即戦力として活躍できる専門職業人を目指したいと思っています。

努力の積み重ねを



4年生 亀田 祐希

私は将来、国家公務員になりまちづくりに携わることが目標です。そのために日々の授業を大切にすることを心がけています。私は都市計画に興味を持ち土木について基礎から学ぶために摂南大学に入学しました。

しかし、入学した当初は自分の目指す将来像などはそれほど明確ではなく、なんとなく公務員を目指そうかなくらいの気持ちでした。学年が上がるにつれて専門科目の授業が増え、業界のことや将来自分がやりたいことが見えてくると、都市計画の仕事をするために公務員を目指すという目標ができました。公務員試験の対策を始めると授業で出てきたような問題も多く、対策を始める前よりも日々の積み重ねの重要性を感じました。また、勉強しているとより知識を深めたいと思うようになり、大学院に進学することを決意しました。自らの意思でさらに勉強する道を選んだので、大学院で最大限学修して将来、社会に貢献したいと考えています。

将来のためにできることを



3年生 森 敬洋

私は実家が建設業を営んでおり、土木について学ぶことができ資格も取れる都市環境工学科に入学しました。将来的には実家に戻り家業継承を思い描いているので、大学にいる間に得ることのできるものは多く

得たいと考えております。そのために、これまで2級土木施工管理技士の学科試験に合格し、現在は経営についての知識も得たいと思い、経営学部でPBLプロジェクトという科目を履修しています。また、2級建築士の受験資格を得るための時間割を組み、土木だけでなく将来に役立つ可能性のあることには積極的に取り組むようにして大学生生活を過ごしています。3年生になりこれまでの2年間で学んできた理論を使ったより実践的な授業内容になってきたので、今までのことを思い出しながら働き始めた時にスムーズに動けるようにこれからの勉強を大学に通わせてもらっていることに感謝しながら学科の仲間とともに頑張っていきたいと思っています。

編集後記

このページは、私たち大学院生が企画し作成したものです。ここでは、先生方やOB・OGだけでなく学生や皆様のご家族にも親しみももて、学科の在学生がどのように取り組んでいるかがわかるような会報誌にしたいと考え、学生自身の考えや意見を主に掲載しています。現在、本学科には296名の学生が在籍しています。摂南大学土木会の歴史は半世紀を超え、その中で、学生の考え方も変わってきていることと思います。

そこで、学生がどんな目標を持って大学生活を送っているのか、どのようなことを目的にどんな努力をしているのかを皆様に知ってもらいたく、今回のテーマを「自分の描く将来のために」としました。それぞれ将来を意識するような内容であり、目標に向かって積極的に取り組んでいるように感じました。

最後に、このページの作成にご協力くださった先生方やアンケートに答えてくださった学生の皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



編集委員 M1

後列の左から 塚本 光祐、田中 達大、山内 将之、山本 純平
前列の左から 野口 敦幾、北野 貴大、奥西 健斗